

得たもの(全国大会報告)

平成27年度の高文連集録第30号に今年の卒業生谷川さん(書道部：現在九州女子大学人間科学部)の文が載っていましたのでここに紹介したいと思います。(写真は、卒業後遊びに来てくれたときのもの)

『私はあの二日間でたくさんの刺激を受け、自分の道を決断するきっかけとなりました。作品の展示会場では、全ての作品に重みを感じました。それは本人の頑張りや、その古典、言葉に対しての思い、全てがそこに詰まっていると感じたからです。会場全体がとても神聖な場であるような感覚でした。作品は都道府県ごとに展示されていました。そのため、地域ごとに線の雰囲気や書きぶり、古典のとらえ方が違うことがはっきりと分かりました。墨の工夫、文字の配置、全てが新鮮でした。私と同じ古典を臨書している作品では、私が見えていなかった部分が見えていて、次に繋げていける課題をたくさん貰いました。私にたくさんのことを教えてくれたのは、今まで同じ目標を持ち、どんな時でも自分を律して努力を重ねてきた、高校生の仲間でした。それらの作品は、あのように書けるまでにどんな苦労があったかを想像すると感激し、心を動かされました。私は書についてまだまだ未熟で、まだ知らない世界があることを痛感しました。そして、もっと知りたい、もっと別の世界を見たい、感じたいと強く思いました。それから私は、上級学校への進学を決意しました。この気持ちを抱いてからは、将来は書道の指導者として、書から学べるものを、多くの人に伝えていきたいと思っています。今私がここにいるのは、私を取り巻く環境や全ての人の支えがあったからです。私に書くことの楽しさを教えてくださった先生方、いつでも応援し、支えてくれた家族や友達が居なければ夢を持つこともありませんでした。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これから私は、今のこの状況すべてに感謝して、目標に向かって頑張っていきます。本当に貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。』



質問コーナー

Q. 進学を考えています。しかし、大学・短大・専門学校の違いが全く分かりません。簡単に教えてください。(1年)

A. 高校卒業後の進路として「進学」を選んだとき、まず悩むのが、大学・短大・専門学校のどの種類の学校を選択するかです。君のように「全く分からない」人も多いので、後悔しないように学校ごとの特徴をしっかりと理解し、最も合った進学先を選びましょう。

大学とは? 学ぶ基礎となる教育課程では、入学した学部・学科に関する内容に留まらず、様々な学問の基礎知識を学ぶことができます。高校までとは違い、自分の興味に合わせて自分で時間割を作ります。必修科目(必ず学ばなければならない科目)はありますが、ライフスタイルに合わせて、自由に学生生活のスケジュールを決めることができます。ただ、自分で決めなければならないので、中には自己管理ができずに怠けてしまう人もいます。ゼミ活動・研究活動・サークル活動など、自主性と協調性が必要な活動も多く、社会人としての基礎力が身に付きます。そんな学校を希望する人は、大学を調べてみましょう。



短大とは? 読んで分かるように「短期」の「大学」で、短期間のうちに、教養科目と専門科目、実学的な科目などを同時に学ぶため、大学よりも忙しくなります。大学に比べて実習時間が長く、机に向かっての勉強とともに、実際に体を使っての実習によって知識・技術を覚えていくため、卒業と同時に即戦力として働ける力が身に付いています。短期集中で資格を取得し、卒業と同時に資格を生かして活躍したい人にとっては最適な学校でしょう。特定の職業に必要とされる知識・技術を学びたい人は短大を今すぐ調べてみましょう。



専門学校とは? 専門学校では、卒業と同時に即戦力として働ける能力を身につけるため、実習がかなり多くなります。「身体で覚えること」が重視されています。欠席・遅刻・早退は厳禁。1日休むと他の学生にかなりの遅れを取ってしまいます。ただし、あなたの「夢を叶える」ための学校環境は抜群に揃っている(学校によって違うのでオープンキャンパスなどに行って直に見たほうが良いですよ)、将来の目標(〇〇になりたい)が決まっている人にはお薦めの学校といえるでしょう。専門学校を調べてみましょう。

—————切り取り線—————

()学年
質問内容: